

## 令和7年度第1回運営推進会議 会議記録

- 事業所名 社会福祉法人母恋 デイサービスセンターいきがい
- 住 所 室蘭市新富町1丁目2番2号
- 事業種類 ①地域密着型通所介護事業 ②第1号通所事業
- 開催日時 令和7年9月29日 月曜日 午後3時00分
- 開催場所 室蘭市新富町1丁目2番2号 シニアマンションすずらん1階 地域交流室
- 出席者（敬称略）
- ・利用者 1名
  - ・利用者家族 1名
  - ・地域代表 新富町会会長 中西 盛雄
  - ・地域代表 母恋地区民生委員児童委員協議会会長 阿部 信一
  - ・地域代表 御崎町会副会長 田上 憲子
  - ・室蘭市役所保健福祉部高齢福祉課主査（介護保険） 青山 香
  - ・室蘭市地域包括支援センター母恋 社会福祉士 戸ノ崎和樹
- 事務局出席者
- ・課長 工藤 恵美
  - ・生活相談員 吉田 茜
  - ・所長 三谷 洋一

### ■開会挨拶

管理者の簗島ひろみが所用で欠席のため所長の三谷より「厚生労働省の試算で介護職員が来年25万人、15年後は57万人が不足すると言われており、将来介護を受けたくても受けられないという事態が起きないよう国にしっかりと対応してもらうとともに、私どもも人材確保のために今後も介護の楽しさ、やりがいを感じてもらえるような各種情報の発信に努めていきたい。本日は皆様から様々なご意見をいただき、さらなるサービスの向上を目指していきたいのでよろしくお願いしたい」との挨拶があった

### ■活動報告（要旨）＊資料・写真で説明

1. 人事異動
  - ・6月に介護職員1名が出産のため退職
2. 感染状況・感染防止対策
  - ・3月の運営推進会議以降に新型コロナウイルス及びインフルエンザに感染した利用者及び職員はいない
  - ・手消毒やマスク着用などの感染防止対策は継続中
3. 職員研修
  - ・令和7年4月から令和7年9月まで法人合同研修として6回開催
4. スタッフ会議
  - ・毎月開催しており利用者動向などについて情報共有し課題の検討会も実施
5. 運営状況
  - ・入院や施設入所が続いて水曜日と木曜日が減少したが、体験利用を経て新規の受け入れにつながることが多くなっている
6. 活動状況
  - ・日頃の様子を写真で紹介

- ・デイやケアハウスのイベントなどの様子を紹介するため YouTube の「社福母恋介護チャンネル」で発信中
  - ・利用者同士やスタッフとのコミュニケーションを増やすとともに、個々の希望に合わせて間違い探しや計算、数独、塗り絵、創作活動、カラオケ、麻雀などを行っている
  - ・入浴は体調を確認しながら希望に応じてゆっくり温まってもらえるよう配慮
7. 救急搬送状況
- ＊なし
8. ヒヤリハット事例
- ・椅子から立ち上がる際に後ろに倒れそうになった
  - ・脱衣場で自分で足先を拭こうとして洗面台におでこをぶつけた
  - ・目の不自由な利用者が歩行訓練中に声をかけられたために方向が分からなくなり U ターン の位置を超えて歩いてしまった
9. 今後の取り組み
- ・ラジオ体操や口腔体操の他、YouTube を活用した誤嚥防止などの体操も実施
  - ・引き続き笑って元気になれるサービスやコミュニケーションに努めていく
  - ・各自の得意分野を活かせる創作活動や脳トレ、自由活動などを盛んにしていく
  - ・日常生活でも身体を動かしてもらうよう家庭でもできる運動を紹介
  - ・地域への情報提供や地域包括支援センターなどとの信頼関係構築に努める

## ■質問・意見・要望

- (意見) 今年体調が良くなってデイでパズルを始めたが、今は男性2人と一緒に3人で楽しんでいる。いろいろ刺激があり、学ぶことも多くてとても生きがいを感じている
- (意見) 母はあまり外出したがいらない人だったが、デイの居心地が良いみたいで気に入っているようだ。食事美味しくスタッフの方もみんないい人だと話している
- (意見) 以前、親がこちらのデイサービスにお世話になった。今、介護職員の不足の話が出ていたが地域のためにも今後もデイや施設の安定した運営に努力していただきたい
- (意見) 地元の福祉の専門学校では以前はベトナムから、今はミャンマーが多くなっているようだ。人手不足の中で外国人労働者への対応については全国で様々な問題も報道されており、国はどのような考え方で今後進めようとしているのかははっきりしない
- (意見) 法人で実施した「出張かふえ」を御崎でも開催していただき20名が参加したが、これまでこちらの施設の建物の外観は見えても中のことはわからなかったが、今回パンフレットをもらってよくわかり、地域にこのような施設があることに参加者も安心したようだ
- (事務局) 今年7月に清水町会からも施設見学に来られており、実際に見学された方がよくわかると思うので機会があればぜひ来ていただきたい
- (包括母恋) 今、福祉や介護の専門職を選ぶ人が確実に少なくなっており専門学校も減少している。介護新聞に紹介されていたが、栗山町の専門学校と函館の施設で協定を結び、卒業後にその施設で3年間働くと授業料が免除になるとの取り組みもあるようだ。現役スタッフが高齢化で世代交代するのに備えて若い人たちを確保できているのかが私たち共通の課題となっているのではないか
- (室蘭市) デイの様子を YouTube など発信されているなど開かれたデイという印象を受けた。話の出ていた「出張かふえ」は定期的開催されているのか
- (事務局) 毎月第三水曜日に「きずなかふえ」を実施しているが「出張かふえ」はことし初めて実施したもので、新富町会のみなさんは既に「きずなかふえ」に多数参加されているので今回は母恋北町、母恋南町、御前水、御崎の4カ所で実施したものである
- (室蘭市) 高齢者はネットなどから情報を得ることが苦手な人が多いため、直接話を聞ける「出張かふえ」は高齢者にとって大変良い機会になると思う